

令和7年度の取り組み内容の 中間報告について

令和7年12月19日（金）

大島町地域公共交通活性化協議会



大島町地域公共交通計画の全体像

課題 1 観光繁忙期と観光閑散期での移動需要の変動への対応が必要

- ・観光繁忙期の多客状況に対応できるサービスが必要
- ・観光閑散期の非効率な輸送状況を改善する必要

課題 2 日常の需要に対応した使いやすい移動サービスが必要

- ・島外連絡交通（航空機、船舶）や町内移動に対応したダイヤ調整が必要
- ・通院や買い物などの日常利用ニーズにあった運行ネットワークが必要
- ・町内の移動に関する取組みの整理が必要

課題 3 来島者も利用しやすい交通環境整備が必要

- ・不足する移動手段への対応が必要
- ・観光来訪における移動需要への対応が必要
- ・移動サービスにおけるキャッシュレス決済等への対応が必要
- ・町内の移動手段に関する来島者への情報提供が必要

課題 4 自動車以外の交通手段の利用促進が必要

- ・免許返納者の公共交通による移動手段の確保が必要
- ・町民のライフスタイル・移動実態にあった移動サービスが必要
- ・公共交通の利用促進に向けた町民の意識の醸成が必要

柱 1 広域ネットワークを担う交通サービスの維持・確保

- ・住みやすい快適なまちづくりに資する広域ネットワークの維持・確保
- ・若者がリターンしやすい環境の一環としてのネットワーク

柱 2 町民の生活や観光需要に対応したフィーダー交通の再編

- ・安心して暮らせる環境を作るためのフィーダー交通の再編
- ・観光需要に対応した移動手段の確保

柱 3 誰にでも分かりやすく使いやすい交通サービスの確立

- ・分かりやすい情報提供
- ・利用しやすい交通サービスの提供

柱 4 自動車以外の交通手段も利用する新しいライフスタイルツーリズムの推進

- ・自動車にばかり頼らないライフスタイルの推進
- ・レンタカー以外を活用したツーリズムの推進

1. 移動需要に合わせた町内の交通ネットワーク再編

【重点】①通学需要に合わせた運行ダイヤ・ルート等の再編 ★

【重点】②バス・タクシー・スクールバス・移動送迎サービス等の複数の交通手段の連携による需要に応じた交通ネットワークの確保 ★

2. ラストワンマイルの移動手段の確保

- ① まちづくりと交通ネットワークの連携強化

3. 生活や観光行動に対応した新たなモビリティの検討

- ① 生活ニーズに対応した移動手段の提供
- ② 主要な観光施設を周遊する観光モビリティの導入 ★
- ③ コミュニティサイクルや電動キックボードの活用検討

4. 福祉輸送等の確保

- ① 福祉や医療分野で実施している移動サービスの維持・確保・改善
- ② 支え合い交通の持続可能な体制の確保に向けた自家用有償運送等の検討
- ③ 公共交通等の利用を促すチケット等の配布

5. 誰もが利用しやすい交通サービスの導入・推進

- ① キャッシュレス対応サービスの導入・推進
- ② 経路検索サービスでの情報提供サービスの導入・推進
- ③ バリアフリーやユニバーサルデザインに対応した車両の導入・推進

6. モビリティ・マネジメント実施

- ① 公共交通案内の充実
- ② バスの乗り方教室の実施
- ③ 公共交通の利用促進につながる取組みの実施
- ④ エコツーリズム等の推進

※★は非繁忙期・繁忙期を考慮した施策検討を想定

令和7年度の主な実施事業

施策	事業	具体的事業	中間報告
	事業1-1 通学需要に合わせた運行ダイヤ・ルート等の再編	(1)登校時間帯の大島高校直通便の維持 (2)下校時間帯の波浮港ライン直通便の新設	<ul style="list-style-type: none"> ・運行継続、フィーダー系統補助 ・運行継続
施策1	事業1-2 バス・タクシー・スクールバス・移動送迎サービス等の複数の交通手段の連携による需要に応じた交通ネットワークの確保	(1)大島公園ライン・波浮港ライン沿線の移動手段確保に向けた段階的な路線再編	<p>・12月から大島公園ラインで実証実験を実施</p>
		(2)元町港・岡田港間の運行便の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・運行継続、フィーダー系統補助 ・協議運賃による運賃改定
		(3)時季に応じた交通事業者の連携・協力によるネットワーク確保	<ul style="list-style-type: none"> ・部会において交通事業者間で協議

令和7年度の主な実施事業

施策	事業	具体的事業	中間報告
施策2	事業2-1 まちづくりと交通ネットワークの連携強化	(1)バス停から離れた施設や地区への移動手段確保(超小型パーソナルモビリティ等)	・ <u>超小型モビリティの試走</u> →実施に向けて準備中 ・ <u>電動モビリティメーカーとの意見交換実施</u>
		(2)交通ネットワークに対応した施設配置等の検討	-
施策3	事業3-1 生活ニーズに対応した移動手段の提供	(1)お買い物バスの運行	-
	事業3-2 主要な観光施設を周遊する観光モビリティの導入	(1)サンセットパークラインでの観光モビリティ導入	・観光協会にて電動キックボードのレンタルを実施
	事業3-3 コミュニティサイクルや電動キックボードの活用検討	(1)コミュニティサイクルや電動キックボードの活用検討	・観光協会にて電動キックボードのレンタルを実施
施策4	事業4-1 福祉や医療分野で実施している移動サービスの維持・確保・改善	(1)福祉や医療分野で実施している移動サービスの維持・確保・改善	・府内で調整
	事業4-2 支え合い交通の持続可能な体制の確保に向けた自家用有償運送等の検討	(1)福祉有償運送や自家用有償旅客運送の実施	・社会福祉協議会と意見交換
	事業4-3 公共交通等の利用を促すチケット等の配布	(1)町民バスの導入	・事務局で検討

令和7年度の主な実施事業

施策	事業	具体的な事業	中間報告
施策5	事業5-1 キャッシュレス対応サービスの導入・推進	(1)キャッシュレス対応サービスの導入・推進	・継続実施
	事業5-2 経路検索サービスでの情報提供サービスの導入・推進	(1)GTFS-JPの導入・推進	・継続実施
	事業5-3 バリアフリーやユニバーサルデザインに対応した設備の導入・推進	(1)バリアフリーやユニバーサルデザインに対応した設備の導入・推進	・ノンステップバスを追加1台導入、 計8台 のバスがバリアフリー化 

令和7年度の主な実施事業

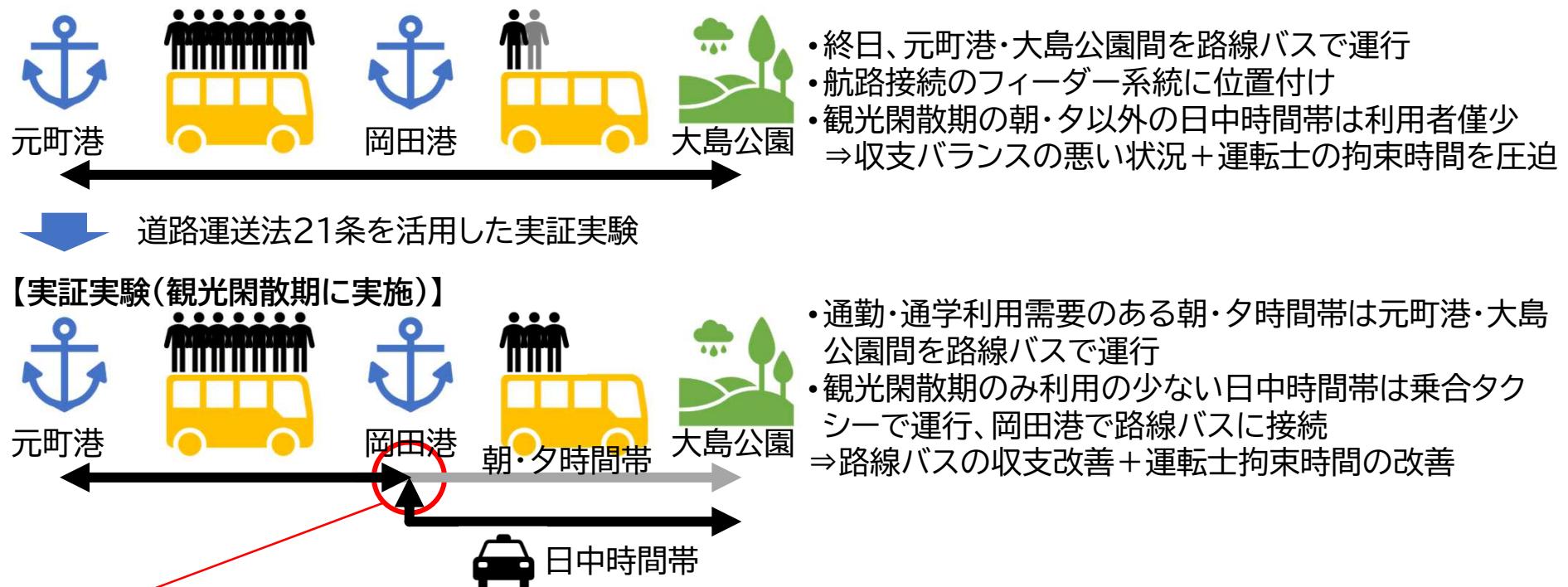
施策	事業	具体的な事業	中間報告
施策6	事業6-1 公共交通案内の充実	(1)来島者向けの情報発信媒体の作成や情報提供	-
	事業6-2 バスの乗り方教室の実施	(1)学校等での乗り方教室の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉まつり」にあわせてバスの乗り方教室を実施 
		(2)イベントでのバスの展示	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉まつり」でバスを展示
	事業6-3 公共交通の利用促進につながる取組みの実施	(1)住民参画の取組みの検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗り方手帳の配布を継続 ・大島高校「学校祭」でアンケート調査を実施
		(2)公共交通の利用促進につながるイベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉まつり」との連携 ・大島高校「学校祭」でポスター展示を実施 
	事業6-4 エコツーリズム等の推進	(1)エコツーリズムの企画・推進	-

大島公園ラインにおける 実証実験の実施



取組みの概要

- ・大島公園ラインのうち、利用者数が少ない観光閑散期の昼間時間帯の岡田港～大島公園間を乗合タクシーで運行
- ・路線バスの経営改善＋タクシーの持続性確保を狙う



ポイント1 乗合タクシーは運転士不足による路線バスの運行休止時間(交通空白時間帯)の解消策として運行
ポイント2 乗合タクシーは路線バス・航路と接続⇒路線バスと一体になった運行、航路のフィーダー系統機能

取組みの検討経過

- ・事業推進部会における関係者調整
 - ・4/25(金)、6/3(火)、11/4(火)の計3回開催
- ・関係行政機関との調整
 - ・警視庁：5/15(木)協議→6/10(火)現地調査
 - ・運輸局：6/18(水)、7/25(金)→9/22(月)申請提出
- ・運行事業者との調整：タクシー協会会合で協議
 - ・9/2(火)、9/18(木)、11/20(木)の計3回開催

※事業推進部会

- ・本協議会の下部組織として設置
- ・実施事業の種類に応じてメンバーを調整、本事業に関しては、大島バス、大島タクシー協会、大島町がメンバー
- ・現場レベルの調整も含むため原則非公開

取組みの周知

○運行区間

高さ (m)
幅 (トンネル)

360	360	360	200	240	200	大島公園
240	240	260	130	120		
200	200	220	130			
180	180	200				東車
130	130					西の浜入口
130						岡田港
130						岡田港 出港時間
130						岡田港 着港時間

右記は：普通運賃
左記は：普通運賃の半額

元町港

朝：7時頃～12時頃
夕：16時頃～

直通

元町～大島公園は乗換せずに行くことが出来ます！

夕：12時頃～16時頃

乗換

元町～大島公園は岡田港で乗換する必要があります！

○時刻表（全時間帯）

岡田港→大島公園

運行日	元町港	バス専用で運行						
		岡田港	西の浜	岡田出港時間	西の浜入口	東車	西トンネル	大島公園
毎日	8:10	8:27	8:28	8:30	8:33	8:34	8:36	8:40
毎日	9:30	9:47	9:48	9:50	9:53	9:54	9:56	10:00
岡田港出航の日	10:30	10:47	10:48	10:50	10:53	10:54	10:56	11:00
岡田港出航の日	10:40	11:01	11:02	11:04	11:07	11:08	11:10	11:14
毎日	12:10	12:27	12:28	12:30	12:33	12:34	12:36	12:40
毎日	13:00	13:17	13:18	13:20	13:23	13:24	13:26	13:30
毎日	13:50	14:07	14:08	14:10	14:13	14:14	14:16	14:20
毎日	14:40	14:57	14:58	15:00	15:03	15:04	15:06	15:10
毎日	15:00	15:01	15:02	15:04	15:07	15:08	15:10	15:14
毎日	17:20	17:36	—	17:40	17:43	17:44	17:46	17:50

大島公園→岡田港

運行日	大島公園	西トンネル	東車	西の浜入口	岡田出港時間	岡田港着	岡田港着時間	バス専用で運行			
								岡田港	西の浜	岡田港出港時間	岡田港着
毎日	7:20	7:24	7:26	7:27	7:30	7:33	7:36	7:50	8:00	8:10	8:20
元町港出航の日	9:30	9:34	9:35	9:37	9:40	9:43	9:46	10:00	10:20	10:40	10:54
岡田港出航の日	9:50	9:54	9:55	9:57	10:00	10:03	10:06	10:20	10:40	10:54	11:20
毎日	10:20	10:24	10:25	10:27	10:30	10:33	10:36	10:54	11:10	11:20	11:30
毎日	12:00	12:04	12:05	12:07	12:10	12:13	12:16	12:30	12:50	13:10	13:20
毎日	12:50	12:54	12:55	12:57	13:00	13:03	13:06	13:20	13:40	14:10	14:30
元町港出航の日	13:40	13:44	13:45	13:47	13:50	13:53	13:56	14:00	14:20	14:50	15:10
岡田港出航の日	14:40	14:44	14:45	14:47	14:50	14:53	14:56	15:00	15:20	15:40	15:54
毎日	15:20	15:24	15:25	15:27	15:30	15:33	15:36	15:50	16:10	16:30	17:00
毎日	15:30	15:34	15:35	15:37	15:40	15:43	15:46	15:54	16:14	16:34	17:10
毎日	16:00	16:04	16:05	16:07	16:10	16:14	16:16	16:30	16:50	17:10	17:30

取組みの実施状況



今後の予定

- 12/26(金)実証実験終了
- 下記の検証を実施予定
 - 実証実験期間中の利用者数
 - 利用者意見
 - 事業者の意見把握(タクシー事業者各社、大島旅客自動車)
- 検証結果を踏まえて、次年度以降の取組内容を検討

協議運賃による運賃改定



取組みの概要

- ・大島バスは平成3年から32年間にわたり運賃改定を実施せず※消費税率改定を除く
- ・物価高や人件費高騰を受けて、運賃の適正化をはかるための運賃改定を実施
- ・運賃協議分科会を設置し、協議運賃により改定

【乗合バス運賃制度の全体像】



取組みの検討経過

- ・6/20(金)に運賃協議分科会を実施
- ・7/11(金)～8/12(火)にかけてパブリックコメントを実施、意見は下記の通り

意見の内容
<p>これまでと同じ運営体制を継続することを前提とした値上げには反対します。</p> <p>理由は32年間にわたる赤字体質からの脱却をしない限り、これまでと同じように赤字を続け町からの補填で運営することになると考えるためです。まずは今回の20%の値上げによってどのように収益が改善するのか、赤字解消になるのか具体的な計画案を提示してもらいたいと思います。値上げによって年間8000万超えの補填が根本的に解消できるのかが重要ではないでしょうか。また、「稼げるバス会社」になるにはどうするべきか、本質的な体制改善が必至だとも思います。タイムテーブル、ルート、車両のサイズ・スペックなど。一度、専門知識を持った有識者に意見をもらう、似たような課題を解決している地域・業者の取り組みを比較検討するなど行ってもらいたいと考えます。経費の見直しも必須。ここ3年、毎年3000万超えのバス車両を購入していますが本当に必要なものか疑問に思います。</p>
<p>住民・観光客が必要とするサービスを提供してこそその公共バスの存在意義だと思います。東海汽船のためのバス会社ではないことを自覚する必要があると思います。</p>
<p>運賃を値上げすることには賛成します。ただ、もう少し遅い時間の運行や、地域のイベント時の臨時バスなどの工夫をしていただきたいと思います。</p>
<p>免許を返納する高齢者も増えてきており、ノンステップバスやマイクロバス、医療センターの停留所が必要になると思います</p>

電動モビリティメーカーとの 意見交換実施



取組みの概要

- ・近距離モビリティを開発・提供しているWHILL株式会社と意見交換を実施
- ・時速6kmで走行する電動モビリティの大島町内での活用可能性を検討
 - サンセットパームライン等の観光スポットの周遊
 - バスやタクシー、レンタカー等と組み合わせた島内周遊の促進
→新たな観光需要の取り込みにもつながる可能性
- ・東京都補助事業の活用により、初期投資を抑えた導入が可能

「福祉まつり」における バスの乗り方教室の実施



取組みの概要

- ・大島町社会福祉協議会主催の「福祉まつり」にて、実際に運用しているノンステップバスを展示
- ・展示車両を活用して「バスの乗り方教室」を実施



大島高校「学校祭」での ポスター展示・アンケート実施



取組みの概要

- ・大島高校主催の「学校祭」において、令和6年度実施アンケートの結果のフィードバックとシールアンケートを実施

